

現況分析における顕著な変化についての説明書(教育/研究)

法人名 九州大学

学部・研究科等名 数理学府

1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

分析項目Ⅲ「教育方法」

2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

○顕著な変化のあった観点名「授業形態の組合せと学習指導法の工夫」

大学院教育改革支援プログラム「産業技術がもつめる数学博士と新修士養成」のもと準備を進めてきた修士課程 MMA コースが、20 年度に入学試験を実施、21 年度から学生を受け入れスタートした。修士論文を課さない代わりに、半期ごとにテーマを変える MMA 講究を実施している。学生はテーマに関して一ヶ月ごとに講究報告を作成し、その集成が修士論文に相当するものとなる。講究指導の補助として、グローバル COE プログラム「マス・フォア・インダストリ教育研究拠点」の援助を受け採用された優秀な博士学生を TA (TRA) として配し、講究作成の補助添削やセミナーのアドバイスを与えるなどしている。この制度はまた「教えて学ぶ」効果も大きく、大学院教育改革支援プログラムの趣旨に沿った教育効果が着実に上がっている。

修士課程 MMA コースの入学者数

	平成 21 年度
MMA コース入学者数	6

TRA の採用状況

	平成 20 年度	平成 21 年度
TRA 採用数	8	7

現況分析における顕著な変化についての説明書(教育/研究)

法人名 九州大学

学部・研究科等名 数理学府

1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

分析項目IV「学業の成果」

2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

○顕著な変化のあった観点名「学生が身に付けた学力や資質・能力」

数学関係では一般に学生を対象とする賞はないが、賞の制度がある統計関係では以下の資料のような受賞があった。これは本学府の教育研究指導が高い質で行われていることを示唆している。

学生の受賞状況

受賞学生氏名	賞の名称	授与組織名	受賞年月	受賞内容
学生A	統計関連学会連合大会優秀報告賞	統計関連学会連合	H20年9月	正則化法に基づく半教師あり識別・判別問題
学生B	日本計算機統計学会第23回シンポジウム学生研究発表賞	日本計算機統計学会	H21年11月	正則化法に基づく半教師あり関数データ判別